

掛川市「考古の日」記念

出土文化財展

と き：平成4年5月28日(木)～31日(日)

と ころ：掛川市生涯学習センターギャラリー1階

1992

掛川市教育委員会

ほりのうちこふんぐん 堀ノ内古墳群（新市庁舎建設内遺跡）

1. 調査地 長谷 928他
2. 調査の原因 新市庁舎建設
3. 調査の面積 4,600㎡
4. 調査の期間 平成3年11月～平成4年3月
5. 調査の内容 発見された遺構は、古墳時代と考えられる方形周溝墓1基、古墳時代後期（1,400年前）の古墳5基、横穴墓3基、江戸時代の道路と思われるものが発見されました。
古墳のうち1基は、県内でも20数例しか発見されていない木芯粘土室という構造で、市内では初めての発見でした。
遺物は、弥生時代の土器・石器、古墳時代の土器・玉類・馬具・鉄鏃・刀等があります。



木芯粘土古墳全景



木芯粘土古墳土器出土状態



木芯粘土断面



木芯粘土室全景



D群1号墓 閉塞の状態



D群1号墓 直刀出土状態



D群1号墓 耳飾り出土状態



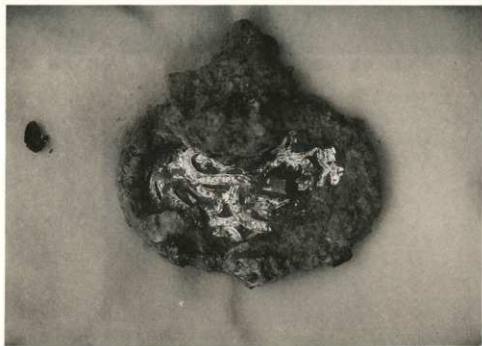
D群1号墓 直刀柄部分



E群1号墓 土器出土状態



木芯粘土古墳出土 杏葉 1 (馬具)
#2525



木芯粘土古墳出土 杏葉 2 (馬具)
#2525

みね いせき 峯遺跡 - 峯横穴群

1. 調査地 下垂木 1472-1 他
2. 調査の原因 桜木小学校舎増築
3. 調査の面積 2, 200㎡
4. 調査の期間 平成3年11月～12月
5. 調査の内容 峯遺跡の調査では、鎌倉時代（700年前）と思われる長さ50m幅4.3m・深さ3mの大溝が発見されました。
峯横穴群からは、古墳時代後期（1,400年前）の横穴16基が発見されました。石で棺を囲ったものや、鎌倉時代（700年前）に最利用されたものがありました。横穴からは環・高環・壺等の須恵器、鏃・小刀等の鉄製品、勾玉・耳環等の装身具が出土しました。



峯遺跡大溝断面



2号墓 閉塞状況



2号墓 遺物出土状況



5号墓 敷石出土状況

つるもとこふんぐん やぎきよこあなぐん
鶴本古墳群 - 矢崎横穴群

1. 調査地 上張字奥ノ谷 363-3、上張字大谷 189-1他
2. 調査の原因 東名掛川インターチェンジ建設
3. 調査の面積 1,500㎡
4. 調査の期間 平成3年4月～6月、平成4年1月・2月
5. 調査の内容 鶴本古墳群では、古墳の主体部と思われる土壇2基と、溝1条を発見しました。矢崎横穴群では、古墳時代後期(1,400年前)の横穴7基を確認しました。その内の保存状態の良好な1基からは人骨3体が発見されました。遺物の残りも大変良く、坏・壺・甕などの須恵器や、大刀・鉄鏃などの鉄製品や、耳環などが発見されました。



鶴本横穴群A群全景



A群3号墓々前域



A群3号墓 遺物出土状況



B群5号墓 人骨出土状況

あかぶちいせき なかかわはらこふん
赤渕遺跡・中川原古墳

1. 調査地 家代
2. 調査の原因 土地区画整理
3. 調査の面積 1,500㎡
4. 調査の期間 平成3年7～10月
5. 調査の内容

赤渕遺跡からは、古墳時代前期(1,600年前)の竪穴住居跡1軒、古墳時代の円墳1基、溝状遺構4条、小穴多数が確認されました。古墳の埋葬施設からは、鉄の斧・馬具・ガラス小玉が出土しました。赤渕遺跡の北側にある古墳(赤渕古墳)の埋葬施設からも鉄剣が出土しました。

中川原古墳は山を削りだした円墳で、埋葬施設からは、勾玉・管玉が出土しました。



赤渕遺跡全景



古墳時代前期の住居跡



赤渕南古墳主体部



赤渕北古墳主体部

はらがわ いせき
原川遺跡

1. 調査地 梅樺字藪崎 432・433他
2. 調査の原因 宅地造成
3. 調査の面積 940㎡
4. 調査の期間 平成3年3月～7月
5. 調査の内容

調査は、奈良・平安時代（1,000～1,200年前）、古墳時代中期～後期（1,300～1,400年前）、古墳時代前期？（1,600年前）の遺構・遺物が検出される層の3層にわたって行われました。

奈良・平安時代では、住居跡と考えられる竪穴状遺構、溝、小穴多数が発見され、溝の中からは灰釉陶器・須恵器・土器器片が多数出土しました。

古墳時代中期～後期でも竪穴状遺構・溝・掘立柱建物が発見され、溝の中からは土器片の他に滑石製の勾玉・白玉が多数出土しました。古墳時代前期の層からは、木棺が非常に良好な状態で出土しました。



平安時代の溝 遺物出土状況



古墳時代後期の溝 遺物出土状況



古墳時代後期の掘立柱建物跡



古墳時代前期？の木棺出土状況

なかはらいせき 中原遺跡

1. 調査地 高田
2. 調査の原因 市道吉岡2・4号線拡幅
3. 調査の面積 1,000㎡
4. 調査の期間 平成3年7～9月
5. 調査の内容

今回の調査では、縄文時代から古墳時代にいたる竪穴住居跡4軒、弥生時代から古墳時代にかけての方形周溝墓1基などが発見されましたが、調査部分の幅が約2mと狭かったため、住居跡や方形周溝墓の規模はわかりませんでした。

出土した遺物は、縄文時代から奈良時代の土器、縄文時代の石器があります。



調査区全景



方形周溝墓

おかつばらさんいせき 岡津原III遺跡

1. 調査地 岡津 595-1他
2. 調査の原因 市道富部各和線拡幅工事
3. 調査の面積 400㎡
4. 調査の期間 平成3年6月～8月
5. 調査の内容

今回初めて岡津原の段丘を調査しました。調査は限られた狭い範囲でしたが、縄文時代中期(4,000年前)の小穴、弥生時代中期から後期(1,900～1700年前)にかけての方形周溝墓4基、溝状遺構9条が発見されました。この遺跡は、時代で見ると弥生時代を中心として、段丘の南へ広がる集落ではないかと考えられます。

はやしいせき
木本 達 功 次

1. 調査地 吉岡字庵下 1002-3他
2. 調査の原因 宅地造成
3. 調査の面積 950㎡
4. 調査の期間 平成3年10月～12月
5. 調査の内容

調査では、弥生時代後期から古墳時代前期（1,700～1,600年前）にかけての方形周溝墓3基、鎌倉時代（700年前）の土甕、小穴約400基が発見されました。

遺物には、弥生時代から古墳時代にかけての土器と、鎌倉時代の山茶碗などがあります。



方形周溝墓



山茶碗出土状況

うめばしきたいせき
木本 達 功 次

1. 調査地 領家字閑地 1,590他
2. 調査の原因 倉庫敷地造成
3. 調査の面積 1,750㎡
4. 調査の期間 平成3年7月～10月
5. 調査の内容

調査は、平安時代？（1,000年前）の遺構・遺物が検出される層と、古墳時代後期（1,400年前）の遺構・遺物が検出される層の2層にわたって行われました。

平安時代では、溝1条と小穴が発見されました。

古墳時代後期では、人工の溝と、自然にできた流れの跡から多数の土師器・須恵器片が出土しました。



古墳時代後期の溝 遺物出土状況



調査区全景



方形周溝墓

下に遺跡がありませんか？

工事計画する前に確認してください。

現在、掛川市には930もの遺跡があり、県内一遺跡の多い市だと言われています。こうした遺跡（埋蔵文化財）は、私たちの“心のふるさと、とも言われ後世の人たちに伝えていくことが大切です。

このため、『埋蔵文化財保護法』で、遺跡のある場所で土木・建築工事や茶園の改植などをする場合には、事前に文化庁に届出をすることが義務づけられています。

工事のため申請したが、遺跡の調査で完成が遅れてしまった——— ということのないように、工事を計画する場合には、早めに掛川市教育委員会社会教育課にご相談ください。

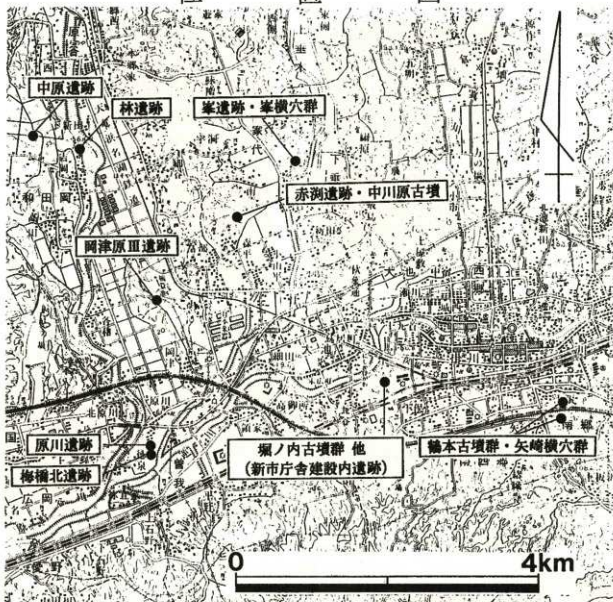
なお、市内にある遺跡の様子を示した『掛川市遺跡地図』があります。次の場所に用意してありますので、計画前にぜひご確認ください。

・掛川市教育委員会 社会教育課文化係 TEL (24) 7773
(24) 6268

・掛川市立図書館

・掛川市役所内：良質地域課（2階）

位 置 図



掛川市「考古の日」

明和9年5月21日(陰曆)現在の長谷字小出ヶ谷地区において、銅鐸一口が発見され掛川藩に届出されました。これが現在の文化財保護法の遺物の発見届と同じことで、この日を記念して、市民の埋蔵文化財に対する理解と、これらを保護・保存しようとする意識の向上を願い、毎年5月21日を掛川市「考古の日」として設定しました。



文化財愛護シンボルマーク

※パンフレットの無断転写を禁じます。